



TITLE:

会員紹介

AUTHOR(S):

CITATION:

会員紹介. 資本と地域 2018, 13: 59-60

ISSUE DATE:

2018-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/231950>

RIGHT:

研究会活動報告

地域経済研究会

2017年4月29日(土)

『入門 現代日本の経済政策』書評会

報告者：阿知羅 隆雄氏（滋賀大学名誉教授）

徳永 昌弘氏（関西大学商学部）

只友 景士氏（龍谷大学政策学部）

司会：渡邊 英俊氏（島根大学）

2017年7月9日(日)

○吉原 清嗣氏（京都大学大学院経済学研究科博士
後期課程）

「地域金融力の数値化

——金融機関の生産物評価——」

○池島 祥文氏（横浜国立大学）

「エビデンスベースドアプローチによる地域経済
研究の探究」

2017年11月4日(土)

○小川 尚紀氏（京都大学大学院経済学研究科博士
後期課程）

「中山間地域における茶業産地の変容過程と

要因分析——岐阜県における美濃いび茶産地
の事例から——」

○ジョン・ランビーノ氏（京都橘大学現代ビジネス
学部）

「フィリピン経済の地域内再投資力の一考察

——中書不企業と大企業の比較分析を
中心に——」

2018年1月20日(土)

○大賀 健介氏（京都大学経済学部）

「瀬戸内海沿岸地域における開発事業の展開

——香川県丸亀市の事例を中心に——」

○白石 智宙氏（京都大学大学院経済学研究科博士
前期課程）

「農山村における地域内経済循環の理論と実際

——岡山県西栗倉村を事例に——」

会員業績紹介（2016年12月1日～2017年12月31日）

関根 佳恵（愛知学院大学）

【著書】

「世界における農業女性の今」日本婦人団体連合会
編『女性白書 2017—女性の権利と社会保障—世
界と日本』ほるぷ出版、2017年、82-84 ページ。

【論文】

「農産物・食品の地理的表示制度の意義と役割」『農
村と都市をむすぶ』第67巻第9号、2017年、
26-34 ページ [招待有]。

“Resistance to and in the Neoliberal Agri-Food Regime:
A Case of Natural Bananas Trade between the
Philippines and Japan.” *The Journal of the Research
Institute of Business*. 55(3): 15-33. March 2017.

【書評】

桂瑛一編著『青果物のマーケティング—農協と卸
売業のための理論と戦略—』昭和堂、2014年。『農
業市場研究』第25巻第3号、2016年、60-61 ペー
ジ。

【研究発表】

「座長解題：農山村移住と農のある暮らしを考える
in 奥三河」農業・農協問題研究所、同東海支部、
実行委員会共催フォーラム「農山村移住と農のあ
る暮らしを考える in 奥三河」愛知県新城市、新
城文化会館、2017年11月18日。

“Néolibéralisation de la politique agroalimentaire
au Japon et contradictions des modèles agricoles”
Article présenté au colloque international FORMAT/
Métaprogramme GIoFoodS sur Coexistence des

modèles agricoles et alimentaires, un nouveau paradigme du développement territorial ? à Agro Paris Tech, Paris, France, 28 juin 2017 (Invited).

“The Structure of Agricultural Holdings in Contemporary Japan Analyzed by Types of Enterprise and Status of Labor: Basing on Agricultural Census 2010” Paper presented at the 3rd International Workshop on Study of Family-run Farming in Kyoto University, Kyoto, Japan. March 16, 2017 (Co-authored with Yoko Niiyama) (Invited).

“Food Labelling and Local Resource management: Instances from Asian Countries” Paper presented at the International Seminar on Land Use and Natural Resource Management in Rural Areas in VetAgro Sup, Clermont-Ferrand, France. March 7, 2017 (Invited).

石田 文雄（大阪経済大学大学院経済学研究科 博士 後期課程）

【論文】

「国内ウメ産業における和歌山県への一極集中過程の要因分析——和歌山県と群馬県のウメ産業の比較研究——」『日本中小企業学会論集36』2017 年、137-140 ページ。

【研究ノート】

「和歌山県への一極集中をもたらしたウメ産地形成と産地構造の諸特徴」『地域経済学研究』第 34 号、2017 年、86-103 ページ。（共著：遠州尋美 元大阪経済大学教授）

三重 遷一（京都大学）

【論文】

「住宅とローカルガバナンス：京都市中心部におけるマンション居住の持続可能性」佛教大学総合研究所『佛教大学総合研究所共同研究成果報告論文集』第 4 号、2017 年、71-77 ページ。